

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あすなろクラブ神埼		R7 年 4 月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	エリラスペースを工夫して安心して過ごせるようにしているが、エリアも限りがある。	個別の対応ができるよう環境整備をおこなう。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			特性や状況によっては2人体制で配置している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2		現在必要としていないが、様々なケースに様々なケースに対応できるように段差や通路などのバリアフリー化を検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃は欠かさず行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	エリラスペースを工夫して安心して過ごせるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			事業所または職員それぞれのタスク表の作成から、進捗状況の見える化など、より効率的業務遂行に努めていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		回収したアンケートのご意見は事業所で周知をおこない改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎日の朝礼等で意見交換の場を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今後、検討していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		連絡協議会などを通して研修には積極的に参加し、事業所での周知を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		毎月の計画を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		連絡帳や電話での聞き取りから、ニーズの把握を行っている。	面談の機会を設け、より細やかな情報共有を図っていきたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		ケース会議やモニタリング等で検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全体に周知し、おこなっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		毎日の申し送り等で確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ねらい及び支援内容を踏まえて設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			他事業所や関係機関等との情報交換により、活動内容の視野を広げていきたい。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		特性や利用頻度を考慮しながら、毎月の計画をおこなっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの特性に応じて行い作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎朝の朝礼を欠かさずおこない、円滑な支援やヒヤリハット防止に繋げている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			毎月のスケジュールとして、支援についての話し合いの時間を設けていきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		細やかな気づきは毎日ケース記録に掲載し、支援の改善・見直しに繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的に保護者ともモニタリングを行なっている。	個別支援計画書に基づいた評価表を活用し、広い視野で支援にあたっていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		視覚支援を加えながらおこなっている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管が参加し、情報は事業所で周知をおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		下校時間の確認や送迎の都合上の遅れなどは、適時連絡をするようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		支援会議等を通じて共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			保護者からの要望があれば、交流の機会も検討する
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡帳や電話を通して気づきや成長をお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		情報があれば保護者にも共有したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者との面談を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		保護者との面談を設けている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時や電話応対にて相談等があれば、面談を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		感染症の拡大により一時中断していたが保護者様からの声があれば再開の目処も立てていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		職員全体で共有し対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		各事業所での活動や様子を通信として保護者様に配布している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		契約時に、顔写真公開の承諾の有無を書類にて記載していただいている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		地域との交流がない為、機会があれば活動計画に取り入れ保護者への周知をおこなう。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		契約時の説明や保護者への事前連絡により、迅速な対応に繋げている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年間行事を元に毎年定期的な訓練を実施している。	通信での活動報告や利用予定表での事前通知により保護者様にも広く通知していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時に書類に記載していただき日頃においても状況変化があれば、すぐに確認できる連絡体制をとっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		今のところ該当者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		定期的に訓練を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事例がある都度、職員間で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		毎年虐待防止研修に参加し、職員間での周知をおこなっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			現在対象児童の利用はないが、契約時に事前に事前説明を徹底しておこなう。